

「学ぼう！使おう！伝えよう！」やさしい日本語

12月3日（日）、8日（金）、17日（日）に、イーグレひめじセミナー室Aにおいて、ボランティアステップアップ学習会「学ぼう！使おう！伝えよう！」やさしい日本語を実施しました。やさしい日本語は、災害情報を「迅速に」「正確に」そして「簡潔に」外国人被災者に伝えるために提案されました。近年では日常生活の中における外国人とのコミュニケーションツールの一つとして注目を集めています。

今回の学習会では、「やさしい日本語」を学び、使い、伝えよう！という3本立てで行いました。第一回の講師には、神戸YWCA 学院主任講師の福井武司先生をお迎えし、「学ぼう！やさしい日本語ってなあ～に？」を開催。講座後半には、日本語学習者にも参加していただき、「やさしい日本語」がどれくらい通じるのか、どう工夫すればより伝わるのかということを学習しました。



第二回の8日（金）は神戸大学名誉教授の水野マリ子先生をお迎えし、「使おう！やさしい日本語、どう変えればいい？」を実施しました。「やさしい日本語」に言いかえる際のポイントや落とし穴をわかりやすく説明していただきました。後半は参加者の方々にも、姫路市の広報チラシなどを題材に「やさしい日本語」に書きかえるグループワークをしていただきました。使ってもいい語彙、使えない語彙、文の順序など、正解・不正解はないものの、より分かりやすい「やさしい日本語」の文章を作ることの難しさを体感されたようです。

第三回は京都工芸繊維大学基盤科学系教授の水野義道先生をお迎えし、「伝えよう！災害時のやさしい日本語」を実施しました。地方自治体の「やさしい日本語」への取り組みや、NHKがインターネットのホームページ上で提供している「やさしい日本語」によるニュースの紹介など、現在の取り組みの状況を紹介いただきました。



また、「やさしい日本語」の考案者でもあるひろさき弘前大学による「やんしす」（より良い文章の作成を支援することを目的としたソフト）の紹介もあり、これから「やさしい日本語」を使う際に役立つ情報を提供していただきました。講座を受講しただけでは、「やさしい日本語」はまだまだ難しく感じますが、今回教えていただいた情報を上手に活用し、今後の生活、お仕事に役立てていただけたら嬉しいです。